



はじめに

大和郡山市長 上田 清

今から 15 年前、21 世紀に向けた健康づくりを考える『大和郡山すこやか 21 計画』が策定された平成 16 年 3 月がちょうど折り返し点となって、平成の時代は終わり、いよいよ令和の時代が始まろうとしています。

このほど作成いただいた『第 2 次すこやか 21 計画』（改定版）中間評価報告書からは、これまでのさまざまな変化を読み取ることができ、興味深く拝見しました。

たとえば食育については、

- ・毎朝ごはんを食べない子どもの割合が策定時より倍増している
- ・3食食べない成人の割合は改善、しかし男性 40 代、女性 20 代は要注意
- ・野菜の摂取量は国並みに。しかし、男性 40～60 代、女性 20 代は不足気味
- ・肥満は、男性は 30・60 代で若干増加。しかしそれ以外は男女ともほぼ改善

といった結果で、世代や家庭状況などターゲットを絞った発信や働きかけがこれからは必要になっていくのではないのでしょうか。

運動・身体活動については、日常生活での歩数が、男性では 20 代・40 代・60 代で策定時より大幅に減少、女性は各年代で大幅に減少するなど、特に若い人たちの運動不足が気になるところであり、あらためて 1 日 3000 歩を続けることにより 1 年で 100 万歩をめざす『すこやか 100 万歩手帳』の普及を図りたいものです。

その他、こころの健康と自殺対策、喫煙と飲酒、歯と口腔の健康、がん・生活習慣病予防、そして健康づくりに取り組むまちづくりなど、課題は多様ですが、何よりも大切なのは、一人ひとりの主体的な健康づくりの実践と、子どもから高齢者まで、一生涯を見通した視点での取り組みではないかと考えます。

熱心に参画いただいた大和郡山すこやか 21 推進委員をはじめ、ご協力いただいたすべての皆様に心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

< 目 次 >

第1章 第2次大和郡山すこやか21計画について(中間報告)	
1 計画策定の背景	1
2 計画の特徴	1
3 計画の位置づけ	1
4 計画の策定体制	3
5 計画の期間	4
6 計画のスローガン・基本方針	4
7 中間評価	4
8 これまでの推進委員会の取り組み	5
9 ライフステージ別の市の主な事業	6
第2章 大和郡山市の現状	
1 人口の推移	11
2 人口の割合(子ども・高齢者)	11
3 男女別年齢階級別の人口	12
4 地区別の人口	12
5 ひとり暮らし高齢者数	13
6 出生数・出生率	13
7 死亡数・死亡率	13
8 死因	14
9 健康寿命	15
第3章 健康づくり施策の3つの柱と健康課題	
中間評価総括	19
1 生涯を通じた健康づくり	22
(1) 栄養・食生活	22
(2) 運動・身体活動	28
(3) 休養・こころ(自殺対策)	34
(4) 喫煙	41
(5) 飲酒	46
(6) 歯と口腔	51
2 がん・生活習慣病予防	56
3 健康づくりに取り組むまちづくり	61
第4章 計画の推進	
1 推進体制	71
2 評価指標	72
資料	
1 大和郡山すこやか21推進委員会会則	81
2 アンケート調査	
(1) 大和郡山市民の健康づくりに関する調査・団体アンケート	82
(2) 大和郡山市立小学校及び中学校に在籍する児童及び生徒の生活習慣等に関する調査	86
3 大和郡山市の健康づくりの現状	88
大和郡山市自殺対策計画	105

<表紙写真>

(中央) ベジタプラスキャンペーン (右上) 12か月育児児相談 ブラッシング指導 (右下) オレンジリボンキャンペーン オレンジリボンツリー展示
(左上) すこやか100万歩運動 健康ウォーク (左下) がん検診を受けようキャンペーン 大腸がんクイズ (下) 大和郡山すこやか21推進委員

第 1 章

第 2 次大和郡山すこやか21計画について (中間報告)



1 計画策定の背景

大和郡山市では、21世紀に向けたわが国の新しい健康づくり計画「健康日本21」「健やか親子21」や奈良県の健康づくり「健康なら21」を受けて『大和郡山すこやか21計画』を平成16年3月に策定しました。

市民と行政が、共同作業を通じて議論を積み重ね、「みんながいいきと安心して暮らせるまち」を目指し、市民と共に健康施策に取り組んできました。平成24年度からは第1次計画の積み上げとなるように、第2次計画を市民の方々と共に考え、健康課題を協議し、「生涯を通じた健康づくり」として、ライフステージを意識した健康課題について、推進委員の皆様の意見を集約し『第2次大和郡山すこやか21計画』を策定しました。

平成30年度には、策定から5年目になり、中間評価を実施し、計画後半の課題を検討し取り組みの見直しを行いました。さらに、平成28年3月、自殺対策基本法が改正され市町村に自殺対策計画を策定することが義務づけられたことから、これまで『第2次大和郡山すこやか21計画』に基づき自殺対策を含む「休養・こころ」の健康対策を推進してきた経過を踏まえ、改訂に合わせ新たに本計画に自殺対策計画としての性格を持たせることとしたものです。

2 計画の特徴

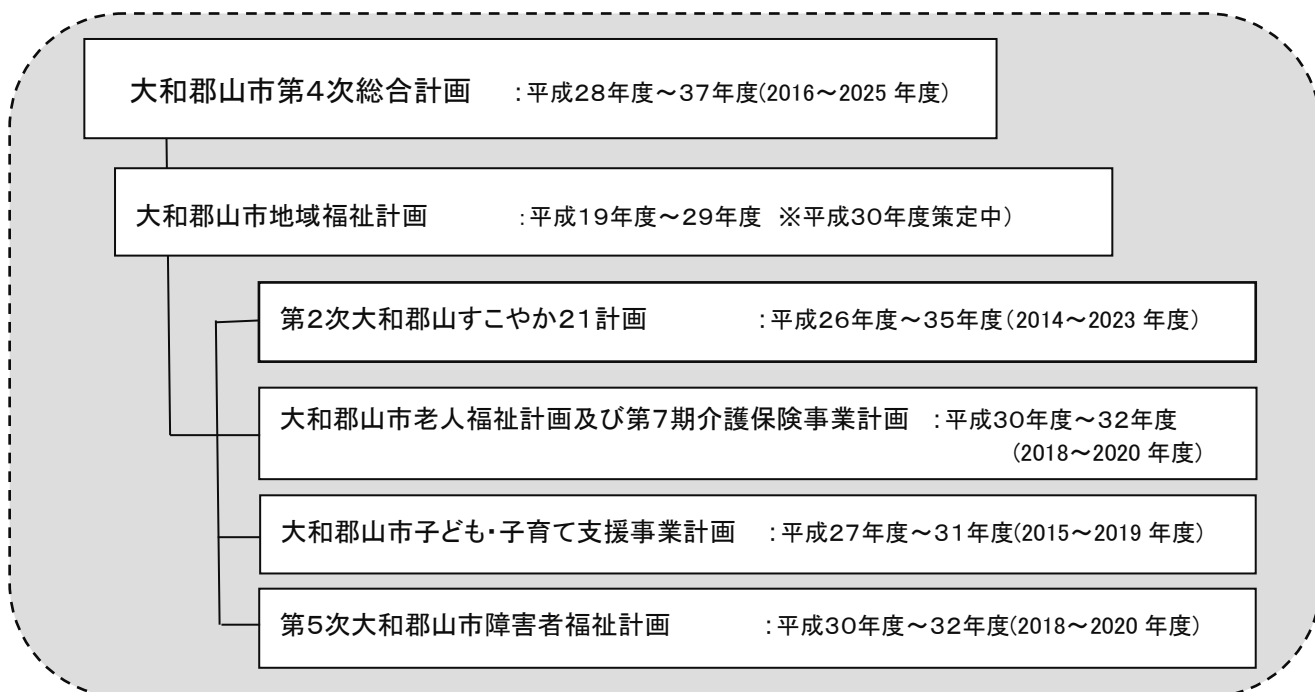
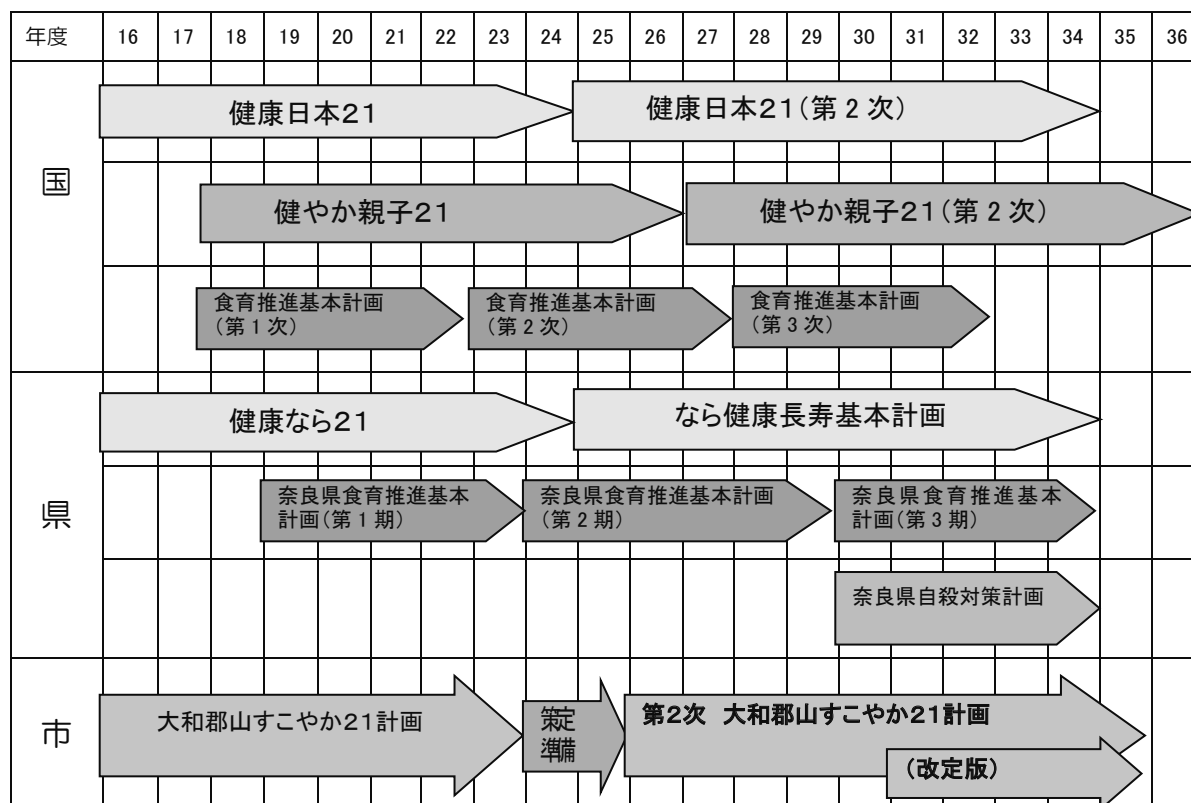
計画の大きな特徴としては、まず、主体的に健康づくりを実践していくこと、健康の自己主権者として自分を育む事に重点を置き、第1次計画で分断されていたライフステージを、子どものころから高齢者になるまでの一生涯を通じた視点での取り組みに編成しなおしたことが大きなポイントです。

3 計画の位置づけ

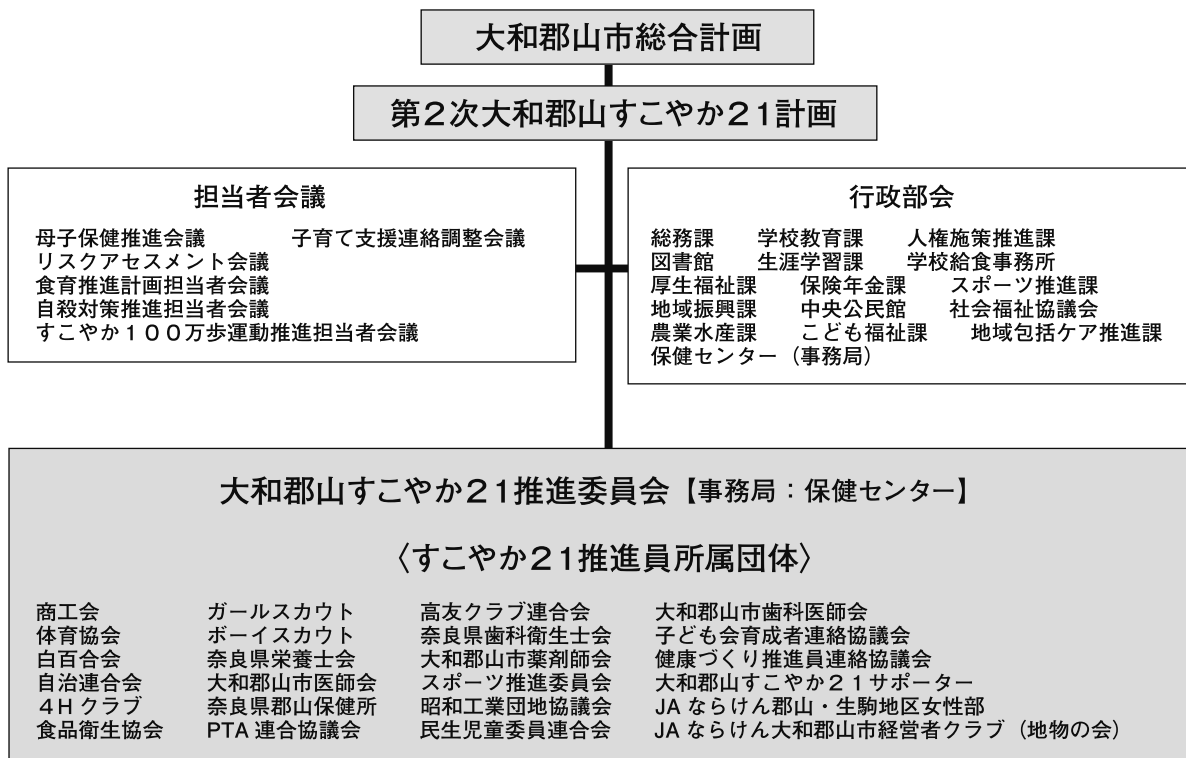
『第2次大和郡山すこやか21計画』は、健康づくり体制推進の基本方針に基づく市独自の健康づくり総合計画であり行動計画の基本的な考え方を示しています。

また、国の「健康日本21（第2次）」と県の「なら健康長寿基本計画」、さらに「健やか親子21（第2次）」の母子保健、及び食育推進計画を含めた地方計画の位置づけとなっています。大和郡山市総合計画を上位計画とし、市の保健・福祉・医療などに関連する様々な計画（「地域福祉計画」「次世代育成支援計画」など）との整合性を図りながら策定しました。市民が生涯にわたり健康で豊かな生活を送るためには、市民と協働による健康づくりをより一層推進する必要があります。そのため、健康づくりと密接に関係のある食育の推進は健康なまちづくり計画には不可欠となることから、健康増進計画と従来の食育推進計画・母子保健計画を引き継ぐ形で一体的に併せて策定するものです。なお、改訂版より、自殺対策基本法第13条第2項に定める「自殺対策計画」の性格をもたせるものとしています。

計画の位置づけ



4 計画の策定体制



地域の組織や団体等から構成される「大和郡山すこやか21推進委員会」に「行政部会」を交え、住民と行政が共に現状や課題を共有し、住民参加の下に策定しました。



助言・指導：岐阜大学医学部医学教育開発研究センター長
藤崎和彦氏



行政部会



大和郡山すこやか21推進委員会



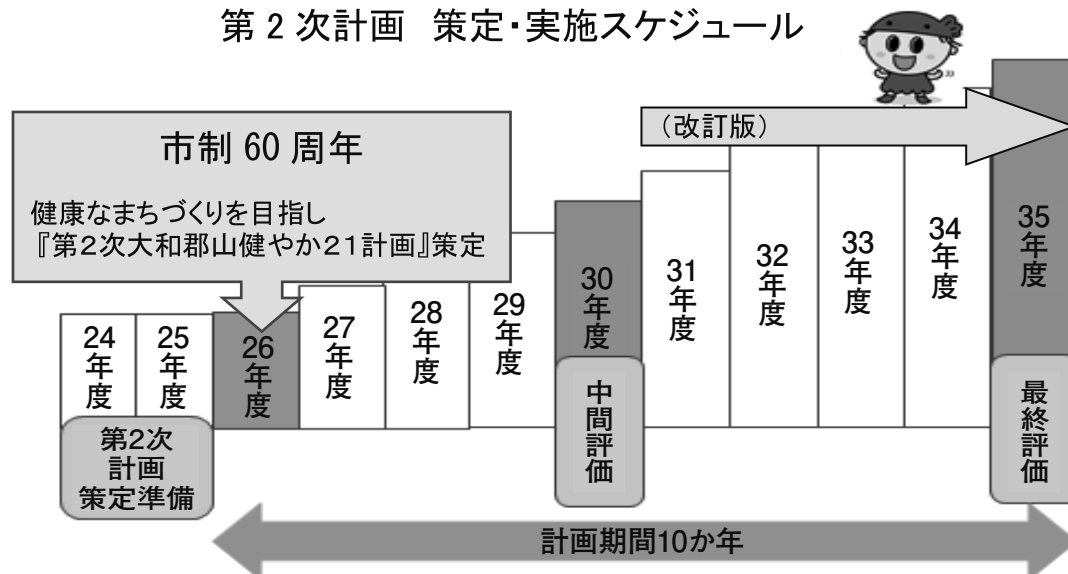
大和郡山すこやか21推進委員会
グループワークの様子

5 計画の期間

第2次計画は、24年度と25年度を準備期間とし、第1次の反省点や課題を改めると共に、国の第2次計画や県の計画を受け、既存データを収集・分析し、推進委員会で共有しながら、計画の枠組みを考えていきました。そして、平成26年の市制60周年に合わせて、「健康なまちづくり」を目指し、第2次計画を策定しました。

計画期間は、平成26年度から35年度までの10年間とし、平成30年度に中間評価、35年（2023年）に最終評価を行う予定です。

第2次計画 策定・実施スケジュール



6 計画のスローガン・基本方針

<スローガン> ~自分らしい人生を送るための人づくり・まちづくり~

- <基本方針>
- ①ライフステージを通した一貫して取り組む健康づくり
 - ②市民一人ひとりが主体的に取り組む健康づくり

7 中間評価

本計画では、計画期間の10年間（平成26年度から平成35年度まで）の中間年にあたる平成30年度に評価指標を確認し、計画の進捗状況を把握する中間評価の実施を計画当初に定めていました。

中間評価にあたっては、これまでの取り組みの成果と指標に対する現状値について評価を行い、計画の見直しを行いました。また、計画の基本的な方向や重点施策についても、情勢の変化や国・県の計画の動向をふまえ、整合性を図りました。

なお、評価指標については、現状値と達成度により、目標指標を改めています。

8 これまでの推進委員会の取り組み

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
推進委員会の開催	重点課題 第2次計画策定	重点課題：運動 「プラス10～今より10分多くからだを動かそう」	重点課題：栄養・食生活 「いつもの食事に野菜をプラス」	重点課題：栄養・食生活 「いつもの食事に野菜をプラス」
2年に1回推進委員の委嘱	<ul style="list-style-type: none"> □推進委員委嘱 24団体・52人 ■4回開催(延べ137人参加) 第2次大和郡山すこやか21計画策定に向けてワーキング(ワーカー)をきいて個人、地域団体でできることを検討 ①人口動態、生活習慣病予防、健康づくりに取り組みまちづくりについてフレイル ②栄養・食生活、歯と口腔、喫煙、飲酒についてフレイル ③運動、休養、こころについてフレイル ④4/27/2月 第2次計画お披露目(計65人) ①出席 14課/17課 ②出席 17課/17課 ■H21.2月 第2次計画お披露目 ■7課 	<ul style="list-style-type: none"> □推進委員委嘱 24団体・53人 ■3回開催(延べ91人参加) ①子育て世代の男女に配布するチラシの内容を検討 ②ベジタベプラスを広める方法の検討、①のチラシの普及・配布方法を検討 ③28年度の活動報告「がんキャンパーン、オレンジリボンのために団体 個人」でできることを検討 ④28年度の活動報告「がんキャンパーン、オレンジリボンのために団体 個人」でできることを検討 先遣地視察(薬剤師会、さわやかベジタベプラス) ・所属団体活動報告(薬剤師会) ①出席 14課/16課 ②出席 15課/16課 ■7課 □先遣地視察(福井県高浜町 11月)(食育担当) 	<ul style="list-style-type: none"> □推進委員委嘱 24団体・53人 ■3回開催(延べ91人参加) ①子育て世代の男女に配布するチラシの内容を検討 ②ベジタベプラスを広める方法の検討、①のチラシの普及・配布方法を検討 ③28年度の活動報告「がんキャンパーン、オレンジリボンのために団体 個人」でできることを検討 ④28年度の活動報告「がんキャンパーン、オレンジリボンのために団体 個人」でできることを検討 先遣地視察(薬剤師会、さわやかベジタベプラス) ・所属団体活動報告(薬剤師会) ①出席 14課/16課 ②出席 15課/16課 ■7課 □先遣地視察(福井県高浜町 11月)(食育担当) 	<ul style="list-style-type: none"> □推進委員委嘱 24団体・53人 ■3回開催(延べ91人参加) ①子育て世代の男女に配布するチラシの内容を検討 ②ベジタベプラスを広める方法の検討、①のチラシの普及・配布方法を検討 ③28年度の活動報告「がんキャンパーン、オレンジリボンのために団体 個人」でできることを検討 ④28年度の活動報告「がんキャンパーン、オレンジリボンのために団体 個人」でできることを検討 先遣地視察(薬剤師会、さわやかベジタベプラス) ・所属団体活動報告(薬剤師会) ①出席 14課/16課 ②出席 15課/16課 ■7課 □先遣地視察(福井県高浜町 11月)(食育担当)
行政部会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ①(食育担当)「いつもの野菜、プラス1皿」郡山の野菜 ★栄養員キャンパーン」 7人で野菜に関する展示等。参加者300人 PICASAで給食メニューの試食販売 「郡山フェア」9日間、野菜に関する展示・試食 ■6課 ■10課 相談体制の充実、啓発・研修の企画について検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ①(食育担当)「野菜いっぱいキャンパーン」 7人で野菜に関する展示等。参加者300人 大和郡山ものづくりフェアで野菜など販売 ■6課 ■10課 相談業務における傾聴と対応について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ①(食育担当)「野菜いっぱいキャンパーン」 7人で野菜に関する展示等。参加者300人 大和郡山ものづくりフェアで野菜など販売 ■6課 ■10課 傾聴と対応を事例を通して学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ①(食育推進計画担当) 「ベジタベプラスキャンパーン」 7人で野菜に関する展示等。参加者300人 「郡山フェア」9日間、ステーキ、展示・試食 ■5課 ■10課 傾聴と対応を事例を通して学ぶ。
すこやか100万歩推進委員会(年2回)	<ul style="list-style-type: none"> 自校対策推進担当者会議(年2回) 	<ul style="list-style-type: none"> 相談体制の充実、啓発・研修の企画について検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談体制の充実、啓発・研修の企画について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 自校の現状と予防対策について学ぶ。事例検討。 天候不良のため中止
大和郡山すこやか21健康フェスタ(10月)	<ul style="list-style-type: none"> H27年度より大和郡山すこやか21フェアの名前から大和郡山すこやか21健康フェスタに変更する。 	<ul style="list-style-type: none"> 講演会「健康のためのウォーキング」(講師：市医師会) 	<ul style="list-style-type: none"> 講演会「インナービューティ講座」(講師：シニア野菜/ARJ) 栄養運動ちらしの配布 ベジタベちゃんコーナー ベジタベちゃんめぐり クイズ、野菜絵合わせ、ベジタベちゃんめぐり 	<ul style="list-style-type: none"> 講演会「インナービューティ講座」(講師：シニア野菜/ARJ) 栄養運動ちらしの配布 ベジタベちゃんコーナー ベジタベちゃんめぐり クイズ、野菜絵合わせ、ベジタベちゃんめぐり
がん検診を受けようキャンパーン(10月)	<ul style="list-style-type: none"> トライズポーツフェスタイバル 大腸がんクイズ 21人 大腸がん自己検診体験 1人 乳がん自己検診体験 28人 薬剤師会 健康機器測定 26人 がん予防のための12か条入り紙ひこうき作り4人 ■オレンジリボン配布 5312個 	<ul style="list-style-type: none"> トライズポーツフェスタイバル 大腸がんクイズ 74人 大腸がんクイズ 103人 乳がん自己検診体験 39人 薬剤師会 健康機器測定 76人 	<ul style="list-style-type: none"> トライズポーツフェスタイバル 大腸がんクイズ 91名 大腸がんクイズ 103人 乳がん自己検診体験 53人 薬剤師会 健康機器測定 80人 野菜クイズ 97人 	<ul style="list-style-type: none"> トライズポーツフェスタイバル 大腸がんクイズ 91名 大腸がんクイズ 103人 乳がん自己検診体験 53人 薬剤師会 健康機器測定 80人 野菜クイズ 97人
オレンジリボンキャンパーン(11月)	<ul style="list-style-type: none"> ※H20年度より継続 ■オレンジリボン作成・配布・着用品 ■親子まつり ハート ■図書館で関連書籍展示 ■オレンジリボン展示 ■講演会 ■オレンジリボンスター・のぼり展示(市役所、城ホール、保健センター) ■イベントですこやか21クイズの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■オレンジリボン配布 5396個 	<ul style="list-style-type: none"> ■オレンジリボン配布 4031個 	<ul style="list-style-type: none"> ■オレンジリボン配布 4262個
ベジタベプラスキャンパーン(食育の推進)	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度より「ベジタベプラスキャンパーン」を開始。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康ウォークの開催(21対同時開催) ■すこやか100万歩手帳リニューアル、達成した歩数ごとにハッパを渡す ■100万歩手帳配布数3571冊、100万歩達成者数99人 	<ul style="list-style-type: none"> ベジタベプラスキャンパーンを開始 マスコミ取材「ベジタべちゃん」決定 ■PRグッズの作成・配布 ・ちらし(食生活版3月作成) ・のぼり設置 	<ul style="list-style-type: none"> 野菜週間の前定(8/20～9/10) 野菜の日(8/31)の前後10日間を野菜週間としてキャンパーンを集中して実施する。 ■SNSで情報発信 ■PRグッズ等の作成・配布(野菜週間に重点的に) ・ちらし(食生活)配布 ・Tシャツ 3,264件配布 ・ポスター 208枚配布 ・野菜たっふりレシビ(動画も)作成 2,814部配布 ・のぼり設置 ・専用スツッカー作成 ・ベジタベリボンの作成・着用(保健センター職員) ・ベジタベクイズ 参加者728人
すこやか100万歩運動	<ul style="list-style-type: none"> 平成16年度より(市制50周年事業の一環として開始。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康ウォークの開催(21対同時開催) ■すこやか100万歩手帳リニューアル、達成した歩数ごとにハッパを渡す ■100万歩手帳配布数4196冊、100万歩達成者数99人 	<ul style="list-style-type: none"> PRグッズの作成・配布 ・ちらし(食生活)配布(19月②2月増刷、女性版①8月②2月改訂) 6,113部配布 	<ul style="list-style-type: none"> 100万歩手帳配布数3568冊、100万歩達成者数延べ458人

9 ライフステージ別の市の主な事業（平成30年度現在）

	妊娠期	乳幼児期(0～6歳)	少年期(7～18歳)	青年期(19～39歳)	壮年期(40～64歳)	高齢期(65歳以上)	担当課	
ライフステージの特徴	母体の健康状態は胎児の発育にも影響があるので、妊婦自身が生活習慣を振り返ることが大切な時期。また、妊婦が健やかな生活を送るためには、家族や周囲の理解と協力が必要。	生理的機能が発達し、人格や習慣を形成する時期。月齢や年齢に応じた子どもの安全を確保し、健康管理に気を付けること、基本的な生活習慣を身に付けることが大切。子育て支援の社会体制の整備も必要。	基礎体力、精神神経機能が発達し、生活習慣が固まる時期です。社会参加の準備期で、家庭と学校、地域の連携した働きかけが重要。	生活環境が大きく変化し、おとなとしての生活習慣を身につける時期。自分にあつた健康づくりを実践し、地域とのつながりをもつよう努力する事が大切。職場や地域で健康づくりに取組みやすい環境づくりが必要。	社会的には働きざかりの時期にあり、社会的責任が最も大きい時期。また、高齢期への準備期でもあり、身体機能の低下が徐々に自覚され始め、健康維持が気になり始める時期。	身体機能の低下、また、長年の生活習慣の積み重ねの結果としてがんやロコモ、認知症など生活の質の低下や生命の危険につながる疾患の増加が見られるよう、日常生活の機能を維持するための健康づくりが必要。	保健センター ※社協：社会福祉協議会 ※包括：地域包括ケア推進課 ※人権：人権施策推進課 ※青少年：青少年センター	
栄養・食生活	個別栄養相談（訪問・電話・来所）							○
	食育普及事業・食育の日イベント							○
	ママババクラス	おはようごはんキャンペーン	親子の料理教室	男性料理教室				○
		4か月・7か月児健診 1歳6か月・3歳児健診 12か月児育児相談	「大和郡山の日」の栄養教諭等による食指導	健康づくり推進員による伝達講習				○
		子育て教室（離乳食実習） 離乳食ステップアップ相談						○
		助産師相談						○
運動・身体活動	ベジタベプラスキャンペーン・野菜週間(8/20～9/10)での啓発・図書館での展示コーナー設置							○
							介護予防教室・高齢者筋カトレーニング教室	○
	ママババクラス	トリスポーツフェスティバル					○	
		矢田の里春風マラソン(市民マラソン大会) ・ 市民歩こう会 ラジオ体操・ラジオ体操指導者講習会 すこやか100万歩					○	
休養・こころの健康（自殺対策）		こんにちは赤ちゃん訪問	健康相談				○	
	ママババクラス・産後ケア	ゲートキーパー研修					○	
	妊産婦・乳児訪問	メンタルヘルス講座・職員向けメンタルカウンセリング					○	
					脳いきいき元気教室	○		
		子どもすこやか相談			高齢者総合相談	○		
		カンガルー教室			地域権利擁護福祉事業 後見人制度	○		
		自主活動グループ(子育て)				○		
			学科指導教室「ASU」			○		
		臨床心理士によるカウンセリング相談					○	
		精神保健福祉相談(精神科医)					○	
		市民総合相談(DV・多重負傷・生活苦・障害・人権・女性・青少年・外国人生活・法律・福祉相談) ・ワンストップサービス ・ 犯罪被害者等支援					○	
			若者自立相談(ニート・引きこもり)				○	
					納税相談		○	
					障害者家族教室 生活困窮者支援事業		○	
	こころの体温計					○		
	図書館での展示コーナー設置 (9月自殺予防週間・3月自殺対策強化月間)					○		
喫煙	公共施設における敷地内禁煙 ・ 自治会における禁煙対策							○
	禁煙外来 ・ 禁煙マラソンなど禁煙相談場所の紹介							○
	ママババクラス	幼稚園・小学校・中学校敷地内禁煙					○	
	妊産婦出時の喫煙リスク啓発	未成年者禁煙支援相談事業					○	
	図書館での展示コーナー設置(5月世界禁煙デー・禁煙週間)					○		
飲酒	ママババクラス						○	
	妊産婦出時における飲酒リスク啓発						○	
歯と口腔	妊産婦・乳幼児歯の相談	口腔健診(国民健康保険)					○	
	12か月児育児相談						○	
	1歳6か月・3歳児健診						○	
	幼稚園・保育園・学校での歯科健診						○	
がん・生活習慣病予防	国保だよりの発行							○
	妊婦健康診査	がん検診(子宮20歳～・胃エックス線・肺30歳～・大腸・乳(40歳～)・胃内視鏡(50歳)					○	
		がん検診啓発					○	
	妊産婦・乳児訪問・こんにちは赤ちゃん訪問	特定健診・後期高齢者健診・さんて健診					○	
					脳ドック検診(国民健康保険)	○		
	4か月・7か月児健診 1歳6か月・3歳児健診 12か月児育児相談					肝炎ウイルス検診(40歳～)	○	
						骨粗しょう症検診(40・50歳)	○	
				検診の記録(20歳～)	健康手帳(40歳～)	○		
	就学前健診	学校での健診	健康相談(訪問・電話・来所)				○	
		健康教育(集団・依頼)					○	
	ママババクラス	糖尿病性腎症重症化予防受診勧奨・保健指導、糖尿病等治療勧奨(国民健康保険)					○	
	職域への健康づくり					○		
	図書館での展示コーナー設置(10月がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン)					○		
	網掛けは、H30年度中間評価で追加 担当課・黒字は保健センター							

		妊娠期	乳幼児期(0～6歳)	少年期(7～18歳)	青年期(19～39歳)	壮年期(40～64歳)	高齢期(65歳以上)	担当課
特 徴 イ フ ス テ ー ジ の		母体の健康状態は胎児の発育にも影響があるので、妊婦自身が生活習慣を振り返ることが大切な時期。また、妊婦が健やかな生活を送るためには、家族や周囲の理解と協力が必要。	生理的機能が発達し、人格や習慣を形成する時期。月齢や年齢に応じた子どもの安全を確保し、健康管理に気を付けること、基本的な生活習慣を身に付けることが大切。子育て支援の社会体制の整備も必要。	基礎体力、精神神経機能が発達し、生活習慣が固まる時期です。社会参加の準備の時期で、家庭と学校、地域の連携した働きかけが重要。	生活環境が大きく変化し、おとなとしての生活習慣を身につける時期。自分にあった健康づくりを実践し、地域とのつながりをもつように努める事が大切。職場や地域で健康づくりに取組みやすい環境づくりが必要。	社会的には働きざかりの時期にあり、社会的責任が最も大きい時期。また、高齢期への準備期でもあり、身体機能の低下が徐々に自覚され始める時期。健康維持が気になり始める時期。	身体機能の低下、また、長年の生活習慣の積み重ねの結果としてがんやロコモ、認知症など生活の質の低下や生命の危険につながる疾患の増加が見られる時期。質の高い生活を送れるよう、日常生活の機能を維持するための健康づくりが必要。	
	健康づくりの取組に主体的に					元気城下町出前トーク 健康づくり推進員養成講座 自主活動グループ(大人)		保健センター ○ ○ ○
人 と 人 と の つ な が り を 大 切 に す る						感染症予防事業(予防接種・食中毒予防等) 図書館での展示コーナー設置(9月・健康増進普及月間)		図書館 ○
						小地域ネットワーク 社協まつり(各地区) 公民館まつり・公民館クラブ 大和郡山すこやか21健康フェスタ	ほのぼのサロン 老人クラブ	地域包括ケア推進課・社会福祉協議会 社会福祉協議会 社会福祉協議会 中央公民館 ○ 地域包括ケア推進課
健 康 づ く り に 取 り 組 む ま ち づ く り	子どもが健やかに育つ環境をつくる	助産師相談	こんにちは赤ちゃん訪問					○ ○ ○
		ママパパクラス	4か月・7か月児健診 1歳6か月・3歳児健診 12か月児育児相談					○
			子育て教室 自主活動(子育てサークル)			自主活動グループ(大人)		○
			地域子育て支援事業 ・親子たんとん広場 ・保育園	中学生職業体験 (保育園・幼稚園)				こども福祉課・学校教育課
			きんとと広場 保育園において育児相談					こども福祉課 こども福祉課
			びよびよ絵本ひろば だっこでおはなし会					図書館・こども福祉課
			医療費助成制度(乳幼児・子ども)					保険年金課
地 域 で 高 齢 者 を 見 守 り 応 援 す る	見守りで子どもを	マタニティマークの配布	マタニティマークの啓発					○
		子育て情報誌・わくわくキッズ 発行						こども福祉課・生涯学習課
		園庭開放(幼稚園・保育園)						学校教育課・こども福祉課
		ファミリーサポート事業						こども福祉課
		オレンジリボンの配布・オレンジリボンキャンペーン・図書館での展示コーナー設置(11月・児童虐待防止推進月間)						こども福祉課・厚生福祉課・図書館
		子ども人権フォーラム						人権施策推進課
地 域 で 高 齢 者 を 見 守 り 応 援 す る							にここ健康づくり(健推)	○
							ほのぼのサロン	地域包括ケア推進課・社会福祉協議会
							にどわらし・認知症カフェ	地域包括ケア推進課
							シルバー人材センター 脳いきいき元気教室	地域振興課 地域包括ケア推進課
							認知症サポーター養成講座	地域包括ケア推進課
							図書館での展示コーナー設置(1月・認知症)	図書館
							金魚バッジの啓発	金魚バッジの配布

